

はじめに

このブックレットは、NPO法人たかつきの中でも特に街かどデイハウス晴耕雨読舎のことについて書いたものです。

このブックレットを作った目的は2つあります。1つは、私たちが4年間の施設運営の中で培ってきたノウハウを整理し、今後の法人運営に役立てること。もう1つは、園芸福祉（次ページの語句説明参照）を活用してより良い施設を作るために試行錯誤を重ねながら悩んだこと、苦労したこと、嬉しかったこと、楽しかったことを公開し、少しでも多くの方に園芸福祉の良さや効果を理解してもらうことです。

私たちの施設では、生きがいづくりと介護予防を目的にサービスを行っています。利用者さんが生きがいをもつ段階にいたるまでにはさまざまなメニューと仕組みづくりが必要です。また、生きがいを持った利用者さんに継続して意欲的に活動に取り組んでいただくためにもメニューと仕組みが必要です。そのメニューと仕組みづくりの中で、非常に有効な手段が園芸福祉活動だったのです。

植物を通して人と人がふれあう園芸福祉活動には、植物の生長、食べること、季節を感じる、鑑賞すること、仲間と分かち合えること、身体を動かす爽快感などさまざまな意欲をかきたてる要素が含まれています。また、植物を育てることは身体を動かすことにつながり、リハビリの要素も多く含まれます。このような園芸福祉活動が、福祉や医療の現場で広まり、利用者さんが心身ともに充実した活動を行えることに少しでも貢献できればと思います。

このブックレットは、NPO法人たかつきの3名のスタッフが、以下のよう
な分担で書き上げたものです。

- 1.NPO法人たかつきの組織概要<石神洋一>
- 2.街かどデイハウス晴耕雨読舎でのサービス提供の仕組み
 - (1)事業のプロセス<石神洋一>
 - (2)1日の流れについて~(5)事例<石神裕美子>

3. 街かどデイハウスにおける園芸福祉の実践について<竹内一司>
4. 晴耕雨読舎におけるモチベーションの維持と向上の方法
 - (1) スタッフ・ボランティア・利用者間のモチベーションの維持と向上
<石神洋一>
 - (2) 利用者ひとりひとりのモチベーションの維持と向上について~(3)
スタッフと利用者との対話での心がけ<竹内一司>

他にも、多くのボランティアや関係者の協力を得て書き上げました。

園芸福祉と園芸療法について

園芸福祉と園芸療法。似たような言葉でありながら、ちょっと違う。人によって解釈が違うようですが、当法人では、晴耕雨読舎で行っている活動は、園芸福祉活動が中心であるととらえています。

園芸療法は、厳密に言うと医師や専門家による「治療」行為の延長やサポートとして行うことです。「治療方針・目的」があり、それに対しての具体的な治療法として園芸を活用する。そして成果を評価するというのが本来の療法としての流れだと思えます。

それに対して、晴耕雨読舎で行っていることは、利用者が利用者自身の幸せや生きがいのために、自らできる範囲で活動を選択し、実行するというものです。自らの幸福のために行っていることですから、問題解決のための「治療」とは異なると考えられます。福祉=幸福・しあわせという意味です。植物を介して幸福を求める晴耕雨読舎での活動のほとんどは園芸福祉活動と呼ぶのがふさわしいと考えています。